

# 千里わかば学園設置基本計画

令和8年（2026年）3月25日

豊中市 教育委員会事務局

## 目次

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| 1. 千里わかば学園における小中一貫教育 .....     | 1 |
| 1.1 経過 .....                   | 1 |
| 1.2 千里わかば学園校区の現状・課題 .....      | 1 |
| 1.3 教育目標及びめざす子ども像 .....        | 2 |
| 1.4 学園グランドデザイン .....           | 3 |
| 2. 千里わかば学園における学園制の基本的方向性 ..... | 4 |
| 2.1 対象校・学校位置 .....             | 4 |
| 2.2 開校時期 .....                 | 4 |
| 2.3 学園制の基本的な方向性 .....          | 4 |
| 3. 千里わかば学園校区におけるカリキュラム .....   | 6 |
| 3.1 基本的な考え方 .....              | 6 |
| 3.2 具体的な取組みの工夫例 .....          | 6 |
| 4. その他 .....                   | 7 |
| 4.1 小中一貫教育推進の評価等 .....         | 7 |
| 参考資料① 学園グランドデザイン .....         | 8 |
| 参考資料② 学園グランドデザイン概要版 .....      | 9 |

## 1. 千里わかば学園における小中一貫教育

令和7年（2025年）5月9日、豊中市教育委員会は「豊中市立第八中学校区における中学校併設型小学校・小学校併設型中学校の学校運営のあり方について」、豊中市学校教育審議会より答申を受けました。

答申の内容をふまえ豊中市立第八中学校区では、令和8年度（2026年度）より、小学校・中学校という現在の学校の形を維持しながら、地域の小学校と中学校が一体的な組織マネジメントを行う「中学校併設型小学校、小学校併設型中学校」、いわゆる「学園制」を市内で初めて導入します。

小中一貫教育の推進は、学びの系統性や連続性を確保するとともに、小・中学校間の円滑な接続によって教育の充実を図ることができる重要な取組みであり、第八中学校区において学園制を導入することで、より良い教育環境を提供し、子どもたちの成長を支えることができると考えます。

第八中学校区の学校群は、これまでの学校名に加え「千里わかば学園」の名称を用いることとなります。

子どもたちの成長を支えるため、学校・地域・家庭が連携を図りながら第八中学校区における小中一貫教育の推進に取り組むことを内容とした、千里わかば学園設置基本計画を策定しました。

なお、本基本計画は、今後の教育制度の改正や社会情勢、地域の変化やニーズ等を踏まえ、必要に応じて内容の見直しを行うものとします。

### 1.1 経過

豊中市立第八中学校区（第八中学校・東丘小学校・北丘小学校）（以下「千里わかば学園校区」という）では、これまで小中連携の取組みを推進しており、すでに共通の学校教育目標を確立し、それに沿ったグランドデザインも掲げ教職員の交流などを図っています。

これまで行われてきた先進的な取組みの積み重ねを活かし、今後さらに小学校、中学校が一体化した学校運営をめざすとともに、より望ましい教育環境づくりについて体系的・継続的に行っていくためパイロット校区として、令和8年（2026年）4月に学園制を導入します。

千里わかば学園校区では、特に、下記の現状・課題をふまえ、子どもたちにとって、より望ましい教育環境及び教育カリキュラムづくりを進めます。

### 1.2 千里わかば学園校区の現状・課題

学力・学習状況調査等の各種データ並びに教職員へのヒアリング等を整理し、以下の特徴及び課題が確認されました。

## (1) 特徴

- ・論理的な思考力に富み、学力が相対的に高い。
- ・与えられた課題にまじめに取り組む力がある。
- ・穏やかで知識が豊富な子どもが多く、決められたことを守る側面がある。
- ・家庭の社会経済的背景や教育力の高さに支えられ、比較的、学習に集中しやすい環境に恵まれている。

## (2) 課題

- ・自己肯定感・ウェルビーイング（幸福感・学校の楽しさ）が相対的に低く、他者との積極的なかかわりに関心がある児童生徒が比較的少ない。
- ・答えのない課題に取り組んだり、困難な課題をやりとげる力、新しいことにチャレンジする挑戦心に課題がみられる。
- ・学力に関する課題は少ないものの、二極化が懸念される。

### 1.3 教育目標及びめざす子ども像

#### (1) 教育目標及びめざす子ども像

以上の千里わかば学園校区の現状・課題をふまえ、これまで行われてきた、校区における、多文化教育・図書館教育・キャリア教育・児童生徒及び教職員の交流等の特色ある取り組みや教育の成果や積み重ねを基礎とした、魅力ある学校づくりを進める必要があります。

以下には、令和5年度（2023年度）に実施した教職員研修でのワークショップにおける議論もふまえて設定された教育目標及びめざす子ども像を示しています。

#### ◆千里わかば学園校区の教育目標

夢をもち 心豊かに とともに未来を切り拓く

#### ◆千里わかば学園校区のめざす子ども像

もちあじを大切に 他者とながら チョレンジする子ども

#### (2) 学園づくりのコンセプト

千里わかば学園校区では、校区の教育目標「夢をもち 心豊かに とともに 未来を切り拓く」に基づくめざす子ども像「もちあじを大切に 他者とながら チョレンジする子

ども」を育む研究開発を3校が連携して進めています。

豊中市では、障害のあるなしにかかわらず「ともに学び、ともに育つ」インクルーシブ教育が進められてきました。千里わかば学園校区の教育目標にはこうした理念を反映し、子どもたちが自らのもちあじを活かしつつ、社会の課題に主体的に関わり、互いの違いを認め合い、それぞれの生き方を拓くことのできる力の向上をめざすこととしています。

そのために、教科等の学習、総合学習、特別活動など様々な場面で「探究的な学習」(以下「探究学習」という)をキーワードとした授業改善と総合学習に関連するプログラムを検討しています。このことを学園づくりの推進イメージ及び重点並びに学園づくりを下支えする学校像・教職員像として以下に示します。

教科等の学習・総合学習の時間の授業を中心に9年間を貫く探究学習のありようを研究し、発信するパイロット校として以下の項目に取り組みます

- ① 学園としての研究体制の構築(学園合同研修や授業研究など)
- ② 系統的な探究学習のプログラムの創造・試行・検証(評価)

#### ◆学校像・教職員像

##### <学校像>

- ゆとりのある安定した生活を送ることができる学校
- 9年間を見通して、子どもの多様な資質や能力を伸ばす系統的な学習指導や心の教育、生き方教育を展開する学校
- 豊かな人間性や社会性を育てる学校

##### <教職員像>

- 子ども一人ひとりを大切にする教職員
- 学び続ける教職員
- 保護者や地域に信頼される教職員

## 1.4 学園グランドデザイン

グランドデザインとは、教育課程全体をカリキュラム・マネジメントの視点で整理し、図としてまとめたものです。

千里わかば学園校区において、教育目標及び重点的に育成をめざす資質・能力としてのめざす子ども像をふまえ、9年間を見通したカリキュラム等の方向性を定めたグランドデザインを作成するとともに、学園で共通した学園グランドデザインを作成します。(参考資料参照)

## 2. 千里わかば学園における学園制の基本的方向性

### 2.1 対象校・学校位置

千里わかば学園 豊中市立第八中学校（新千里東町3-2-1）  
千里わかば学園 豊中市立東丘小学校（新千里東町3-1-1）  
千里わかば学園 豊中市立北丘小学校（新千里北町2-19-1）

学園制として、原則、既存の学校運営形態（就業年限、校長、校舎、通学区域等）を維持します。

### 2.2 開校時期

令和8年（2026年）4月

### 2.3 学園制の基本的な方向性

千里わかば学園校区における学園制の基本的方向性を以下のとおりとします。

#### （1）学園長

東丘小学校長・北丘小学校長・第八中学校長のうち1名を学園長とし、学校間の総合調整を行います。

#### （2）学園名等

##### 学園名

校区の一体感を醸成するため、統一した学園名を冠するものとします。

##### 校歌・校章

校歌・校章は、各校の取組みの積み重ねをふまえ、既存の内容を学園開校後も継続します。

#### （3）兼務発令・乗り入れ授業・教科担任制の拡充

学園の教職員に兼務発令を行い、柔軟に小中連携に取り組める体制を構築します。  
また、乗り入れ授業、教科担任制の拡充といった取り組みを進めます。

#### （4）学園運営体制

各校の独自取組みや運営体制、校務分掌を活かしながら、可能な限り、共通化を図るこ

とで小中・小小間で一体性の高い効率的な運営を進めます。特に円滑な学園運営や教育内容にかかわる研究推進に関わる共通の校務分掌を位置付けるといった取組みによって、児童生徒の9年間の学びを系統的に構築し、その内容を議論します。

#### **(5) 学園運営のための会議及び研究組織**

これまで行われてきた小中連携のためのいきいき会議等の取組みや現行の会議体制を活かし、意思決定の迅速化や小中一貫教育推進の取組みの継続性を担保しうる体制を推進します。

学園を一体的にマネジメントするため、学園長・各校長・各校代表者（首席等）により構成された学園全体の運営を推進する会議を組織します。また、探究的な学びをテーマとした総合学習及び教科についての研究・企画立案等を学園で協働して行うため、必要に応じてテーマ別の部会等の組織を設けます。会議は、定期的を開催し、学園運営のビジョンを共有するとともに、小中一貫教育に必要な取組みを策定します。各校はその結果にもとづき、小中一貫教育の円滑な実施を推進します。

#### **(6) 合同研修・合同研究授業等の実施**

学園内の課題の共有や今後の運営について等をテーマとした合同研修や合同研究授業を実施し、小中一貫教育の視点をふまえた教育活動の充実をめざします。小・中学校教職員の違いやお互いの教育活動を学びあうために、学校種別に関わらず教職員が交流できるような仕組み、行事の合同開催による異学年交流の場を設定します。

#### **(7) 生徒指導**

特に、学園の小・中学校の教員間で、児童生徒の情報をきめ細やかに共有することで、不登校・いじめ等への適切な対応や支援に繋がるとともに、子どもたちの個性の発見とよさや可能性の伸長、社会的資質・能力の発達を促します。

#### **(8) インクルーシブ教育の推進**

豊中市障害児教育基本方針に基づき、インクルーシブ教育を進めます。また、推進にあたっては、学校、地域、社会、そして子どもや保護者への様々な働きかけを通じて行うものとします。

#### **(9) 学校運営のための計画**

学園の教育目標、めざす子ども像、グランドデザイン、学園の教育目標を達成するための基本方針、指導の重点を定めた学校運営のための計画については、学園のビジョンをふまえながら、これまでの特色ある取組み、積み重ねを活かし、各校の特徴をふまえた内容について、各学校で検討します。

### **(10) コミュニティ・スクール（学校運営協議会）**

千里わかば学園では、小・中学校単位の学校運営協議会を学園で一つにした学園の学校運営協議会を設置します。

学園の学校運営協議会では、学園長が中心となり、学園の現状や今後の取組みについて協議を行うこととし、保護者や地域への小中一貫教育推進に対する理解と協力をさらに得られるようにします。

また、コミュニティ・スクールの展開にあたっては、地域の様々な大人が子どもたちの学びに関心を持ち、支援し、協働することで、教育内容の充実が図られることから、地域住民の参画を促すため、学園としての教育活動に関する情報共有等を図っていきます。

## **3. 千里わかば学園校区におけるカリキュラム**

### **3.1 基本的な考え方**

小中一貫教育の中核となるのは、義務教育9年間を見通し、系統性・連続性を確保した教育課程を編成・実施することです。その際、特に小・中学校の学校段階を越えたつながり（円滑な接続）及び小学校内、中学校内での異なる学年でのつながり（学びの連続）を重視し、取組みを進めることが求められます。

また、各教科等の内容項目の指導以外に、児童生徒の実態や課題をふまえ、個々の学年・学級の指導計画レベルも含め、どのような取組みを一貫させたり、発展的に継続させたりするのか検討することが必要です。

なお、教育活動を効果的に展開していくうえでは、個々の教職員の創意工夫を推奨することが重要です。一貫性・継続性を強める取組みを進める際には、すべてを統一しようとするのではなく、児童生徒の実態を勘案し、どのような取組みを一貫させ、継続させることが望ましいか吟味したうえで、学園内での共通認識を持つことが重要です。

個々の教職員の工夫を教職員全体で共有し、効果的な取り組みが学園内に広がるような手立てを講じることやそれらの手立てを教育課程や指導計画に位置付けていくことが重要です。

### **3.2 具体的な取組みの工夫例**

以上に基づき、教育活動の系統性・連続性を確保する上での取組みの工夫について示します。

- ・学習指導要領の確認、創意工夫された教科書の活用
- ・系統図や指導計画の作成、活用
- ・下学年の既習事項の確認
- ・これまで学んだ知識と知識を関連づけた指導の充実
- ・学力調査等の合同分析をふまえた指導の改善
- ・小中一貫教育の軸となる独自カリキュラム等の実施
- ・研究体制の構築
- ・取組みの評価

## 4. その他

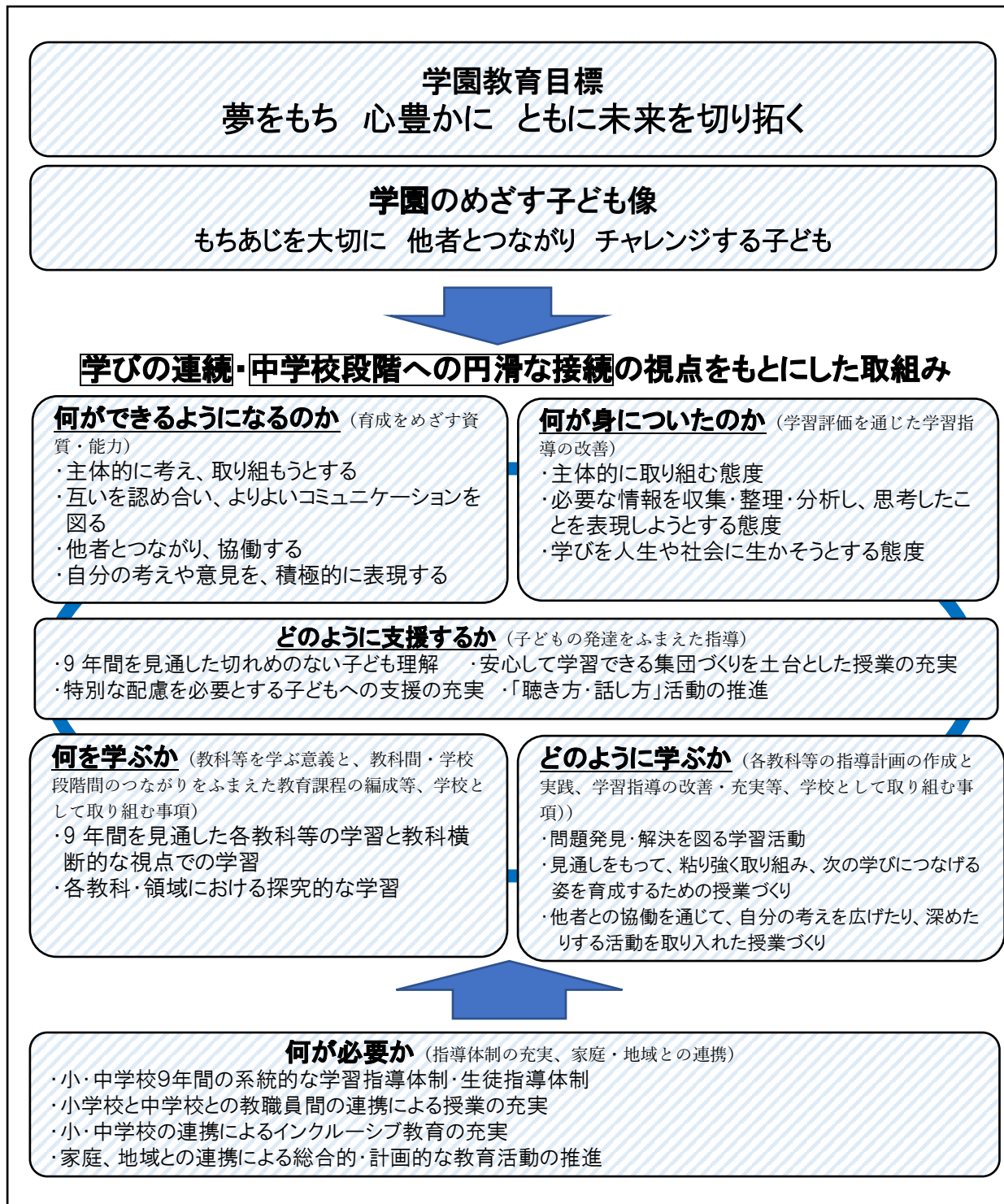
### 4.1 小中一貫教育推進の評価等

全国学力・学習状況調査や全国体力・運動能力等調査の結果を分析するなど、具体的な数値を基に学園の目標を設定します。

各学校が実施する学校自己診断の中で、主に小中一貫教育の成果やめざす子ども像についての評価を行います。評価項目の詳細については、代表者会議等で決定します。

## 参考資料① 学園グランドデザイン

### ◆千里わかば学園校区 学園グランドデザイン



参考資料② 学園グランドデザイン概要版

千里わかば学園校区 グランドデザイン

中学校区のめざす子ども像

もちあじを大切に 他者とつながり チャレンジする子ども



こんな校区をめざします

9年間を見通し、学校教育活動をとおして、  
豊かな人間性や社会性を育てる八中校区



子どもたちにつけたい力

- ・主体的に考え、取り組もうとする力
- ・互いを認め合い、よりよいコミュニケーションを図りながら、  
協働する力
- ・自分の考えや意見を、積極的に表現する力 など



めざす子ども像の実現に向けて

- ・各教科・領域における探究的な学習の充実
- ・9年間の系統的な「主体的・対話的で深い学び」の  
実現に向けた学校教育活動の推進



各校をこえた取組み

- ・異学年での合同行事の開催
- ・教職員による研究授業・学校  
行事への相互参加
- ・小・中学校間での子どもについて  
のきめ細かな情報共有



家庭・地域とともに

- ・地域学習の充実と地域に開か  
れた学校づくりの推進
- ・就学前施設や小・中学校、  
家庭、地域との連携による総合  
的・計画的な教育活動の推進

※グランドデザインとは・・・めざす子ども像にむけた学校・校区の基本構想